

鉄の魅力がぎっしりつまった、

『鉄と鉄鋼がわかる本』

『鉄の未来の新・モノ語り』を発行

『鉄と鉄鋼がわかる本』

鉄鋼製品の誕生から最先端の技術まで、鉄の魅力を紹介

本紙に2003年5月から連載中の「モノづくりの原点 - 科学の世界」シリーズをまとめた『鉄と鉄鋼がわかる本』が発行された。

「モノづくりの原点」シリーズは、新日鉄の競争力の源泉である優れた技術力を、「科学」の視点から誰にでも分かるように、かつレベルを落とさず解き明かすことを目的とした読み物企画。

掲載開始以来、「鉄づくりについて分かりやすく理解できる」「鉄に関わる技術の裾野の広さが分かる」とユーザーをはじめ社内外で好評で、新人研修などでも活用される、好評シリーズだ。

これまで、同シリーズをまとめて冊子として活用したい等の要望が社内各部門より寄せられてきたが、日本実業出版社より、「Visual Engineering図解 がわかる」シリーズとして出版したいという申し入れがあり、1冊の本として発行することになった。

まとめるにあたり、地球上で最も多く使われているが、なかなかその存在に気付きにくい「鉄」を少しでも身近に感じてもらいたい、そして、研究者の「鉄づくり」にかける情熱と鉄の将来性への夢を伝えたい、との思いで編集した。

本書の企画を担当した日本実業出版社第一編集部の上野氏に聞いた。

「この企画は、私が社内の企画会議で『日本の基幹産業である、鉄や鉄鋼に関するわかりやすい本がない』と発言したことに始まります。すると、上司から見せられたのが『NIPPON STEEL MONTHLY』でした。早速、新日鉄広報センターに連絡をとりました。その返信は早かった！早速、出版に向けた交渉に入りました。高価で難解なだけの金属関連の書籍群。そこに鮮烈な衝撃を与えたと思います。ぜひ、幅広くみなさまに読んでいただきたいと祈る気持ちでいます」



『鉄と鉄鋼がわかる本』の購入方法

書店での購入について

『鉄と鉄鋼がわかる本』は全国の主要書店に配本されています。書店にない場合は、書店に取り寄せを依頼し、ご購入ください。定価1800円+税90円=1890円

『鉄と鉄鋼がわかる本』の内容

- 第1章：宇宙からの恵である鉄の「生い立ち」「魅力」「広がり」を探る
- 第2章：天然資源の鉄鉱石から鉄を生み出す高温下のダイナミックな化学反応「製鉄」
- 第3章：実用に適した強靱な鋼を生み出す、介在物との戦い「製鋼」
- 第4章：硬い鋼を薄く延ばす熱間圧延工程の「塑性加工技術」
- 第5章：鉄と鉄をつなぐ「接合技術」の世界、溶接も溶断も容易な鉄の魅力
- 第6章：自動車用鋼板の世界にスポットを当てた「軟らかくて強い鉄への挑戦、永遠のテーマ「錆との戦い」
- 第7章：「鉄に夢を」をテーマに、さまざまな分野で鉄に関わる6名の方々からのメッセージ

『鉄の未来の“新・モノ語り”』 鉄づくりの原点を探る、冒険物語



*「新・モノ語りシリーズ」

月刊総合誌『文藝春秋』に掲載している広告と、営業広報誌『ニッポン・スチール・マンズリー』掲載のシリーズ「モノづくりの原点 科学の世界」からテーマを選び、物語風にアレンジしたもの。

『地球にやさしい“新・モノ語り”』（2001年7月発行）
『みんなの地球の“新・モノ語り”』（2002年7月発行）『鉄から生まれる“新・モノ語り”』（2003年10月発行）に続く、4巻目を発行した。

発行以来、製鉄所見学、展示会などで無料配布し、子供たちの他に、主婦、学校関係者、地域でボランティア活動をする皆様などから多くの反響を得ており、約25万部を発行する「ロング・セラー」となっている。

今回は特に、子供たちに、鉄は身近で頼りになる可能性のある素材で、「鉄づくり」は不思議で楽しく、「鉄づくり」を通じて社会の発展、環境保護、安全に大きな貢献ができる、ということを知ってもらおうと心がけた。

これまで同様、「もう少し詳しく知りたい」という子供たちの知識欲に応えるために、「ソクラテツの知恵袋」コーナーを設けている。

4巻目のストーリー

『鉄の未来の新・モノ語り』は、いわば「鉄づくりの原点」を探る旅。日本の優れた品質の鉄づくりの原点「たたら製鉄」をプロローグに、鉄鉱石から鉄を生み出す「製鉄」、実用に適した鋼（はがね）にする「製鋼」の工程を分かりやすく説明し、最後に、次世代の環境・エネルギーのキーとなる「製鉄所」の持つ可能性を紹介している。“鉄の知恵袋”「ソクラテツ」を進行役に、ハイテンロボ「一鉄」と、めっきが美しい鉄口ボ女の子「テツミー」が、鉄の原点を探る壮大な旅に出るという、ロマンにあふれた冒険物語だ。

『絵本 新・モノ語りシリーズ』の申し込み方法

<申込先>

官製はがきの場合 〒100-8071 東京都千代田区大手町2-6-3

新日鉄 総務部広報センター「絵本マンズリー係」

webの場合 <http://www0.nsc.co.jp/story/> からお申し込み下さい。

FAXの場合 03-3275-5611

<記入事項>

希望する絵本（以下）・希望部数

第4巻 『鉄の未来の“新・モノ語り”』

第3巻 『鉄から生まれる“新・モノ語り”』

第2巻 『みんなの地球の“新・モノ語り”』

第1巻 『地球にやさしい“新・モノ語り”』

送付先 お名前

e-mail（今後、当社からのお知らせを送付致します）

日本科学技術振興財団 / 科学技術館でも好評

東京・北の丸公園にある日本科学技術振興財団の科学技術館では、4階の「IRON WORLD」で今年、夏休みを中心に絵本『新・モノ語り』を展示・配布した。年間55万人が訪れる科学技術館では、従来、修学旅行や学校の社会科見学会などの団体が主であったが、最近は逆転し、科学技術に興味を持つ子供たちと引率する父母といった親子連れが増えている。

6月からの約4カ月で、用意した約1万部はすべて配布され、受け取った子供たちからは連日のように反響の

感想葉書が広報センターに舞い込んだ。さっそく科学技術館運営部課長の高橋紀樹氏に聞いた。

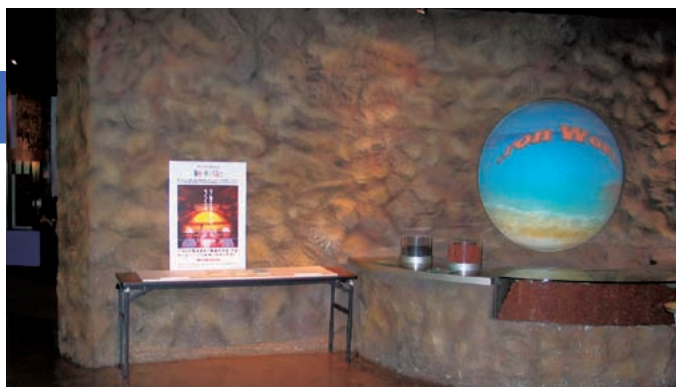
「正直、予想以上の反響に驚いています。最近は各企業が、社会貢献に熱心で、子供たちにPRをしようと努力しています。新日鉄のこのようなメッセージの伝え方は、子供たちに良い影響を与えたいと思います」

科学技術館に来る子供たちは、新しい知識や情報を求めて勉強に来るといふ。そのような子供たちに、回答を与えてあげることが大切だと語る。

「最近デンマークの博物館に視察に行ってきましたが、学校教育でできない部分を博物館などの教育文化施設が担っています。私たちも、子供を連れて、そのような施設で教育をしています」

感想文を読むと、子供たちがしっかりとメッセージを把握していることが分かるという。「このような文章を書くことができる子供たちの才能をぜひ伸ばしていきたいものです。今回、新日鉄の絵本の感想葉書を読み、子供たちが新日鉄に興味も持ち、子供たちと企業の距離が縮まったと思います。企業の社会貢献活動として、大成功なのではないでしょうか」と続ける。

理科嫌い、科学技術離れが問題になっている今日、科学技術館では、子供たちに科学技術を少しでも身近に感じてもらえるよう、さまざまなイベントを実施している。そうした中、「子供たちにプラスになるかどうか、それを真剣に考えて企画し、実行することが大切」と同館運営部主任の吉田敏眞氏は強調する。「そして最も大切なことは、関心を持たせたあと、きちっとフォローすること。新日鉄の、今後の活動に期待しています」(高橋氏)



科学技術館 <http://www.jsf.or.jp/>

現代から近未来の科学技術や産業技術に関する知識を広く国民に対して普及・啓発する目的で、(財)日本科学技術振興財団が設立した施設。昭和39年4月に開館。館長は、元文部科学大臣の有馬朗人氏。展示は参加体験型のもが多く、見たり、触ったりして楽しみながら、科学技術に興味、関心を深められるように構成が工夫されている。



科学技術館運営部 課長 高橋 紀樹氏(右)
科学技術館運営部 主任 吉田 敏眞氏(左)

科学技術館に訪れた子供たちから寄せられた葉書の一部を紹介します。

新日鉄はここまでリサイクルをやってすごびっくりしました。

ぼくも今まで以上にリサイクルします。(東京都 小6 男子)

新しい、いろいろな勉強になることがいっぱいありました。ぼくは前

からこういう本が出ればいいと思っていました。今後もこのシリー

ズを出してください、お願いします。(東京都 小4 男子)

鉄のことはあまりよく知らなかったので勉強になったし、この絵本

のおかげで、自分にできることはしっかりやろうと思いました。この

絵本を大人が読んで、子供と一緒にリサイクルなどをやったら、み

んなで楽しみながらできると思いました。(東京都 中1 女子)

僕は、科学の発達によって環境が悪くなっていくばかりだと思って

いましたが、この本を読んで、ちゃんと環境のことも考えていること

が分かってよかったと思います。(東京都 小6 男子)

鉄は硬いものとはばかり思っていたのですが、加工も出来るし、その加

工品が地球温暖化を抑えることもできるハイブリッドカーにも使用

されていることが分かりました。(福島県 小5 女子)

新日鉄の「美しい地球を守っていきいたい」という気持ちが充分に伝

わってきました。私もできるかぎりリサイクルや省エネに協力して

いきたいと思います。(東京都 中1 女子)

新日鉄が開発した鉄がもっと世界に広がればいいなと思いました。

(東京都 小5 女子)

絵本で初めて知ったこと、これは大事だと思ったことをまとめて先生に

提出したら、ほめられました。絵本なのですぐ分かりやすく、ためにな

りました。鉄博士になりそうです。(東京都 中1 女子)

絵本を読んで、テレビのつけっぱなしや、たばこのポイ捨てが悪いこと

がわかりました。この本が読めて良かった。3つのR、リユース・リデュ

ース、リサイクル、最高です。(東京都 小5 女子)

この本を読んで勉強になりました。もっと勉強したいので、絵本の続き

を下さい。(東京都 小5 男子)

今の生活を少しでも改善しなくてはいいないと思いました。リサイクル

はとても大切。うちではペットボトルの再利用をしています。未来を変

えるのは私たちですから。(千葉県 小6 女子)

今年から環境の授業が始まりました。鉄のリサイクルについてよく分か

りました。これから私にできることをやって地球を守っていきいたいと思

いました。(静岡県 小6 女子)

ぼくは、絵本を読んで新日鉄ってすごいな、と思いました。軽くて強い

鉄ハイツや、ハイブリッドカーに使う鉄とか、色々なことを考えている

んだなあとあって、いっぱい読みました。(千葉県 小3 男子)

新日鉄さんはすごいと思いました。しっかりと考えて作っているからです。

僕もマイホームを買う日がきたら、新日鉄のニツツスーパーフレーム

工法で建てたいです。有難うございました。(福島県 中2 男子)